TSUMUGUBITO 第17回定例会

ダイバーシティ × インクルージョン

生涯ケアラーが抱える課題

2016年2月12日(金)

話題提供者：持田　恭子（ケアラーアクションネットワーク代表）

Copyright @ 2016 Carer Action Network

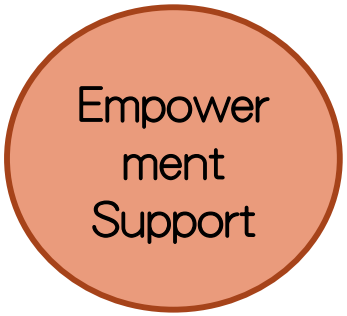
話題提供のきっかけ

CANはどんな活動をしているのか？

Carer Action Network (CAN)

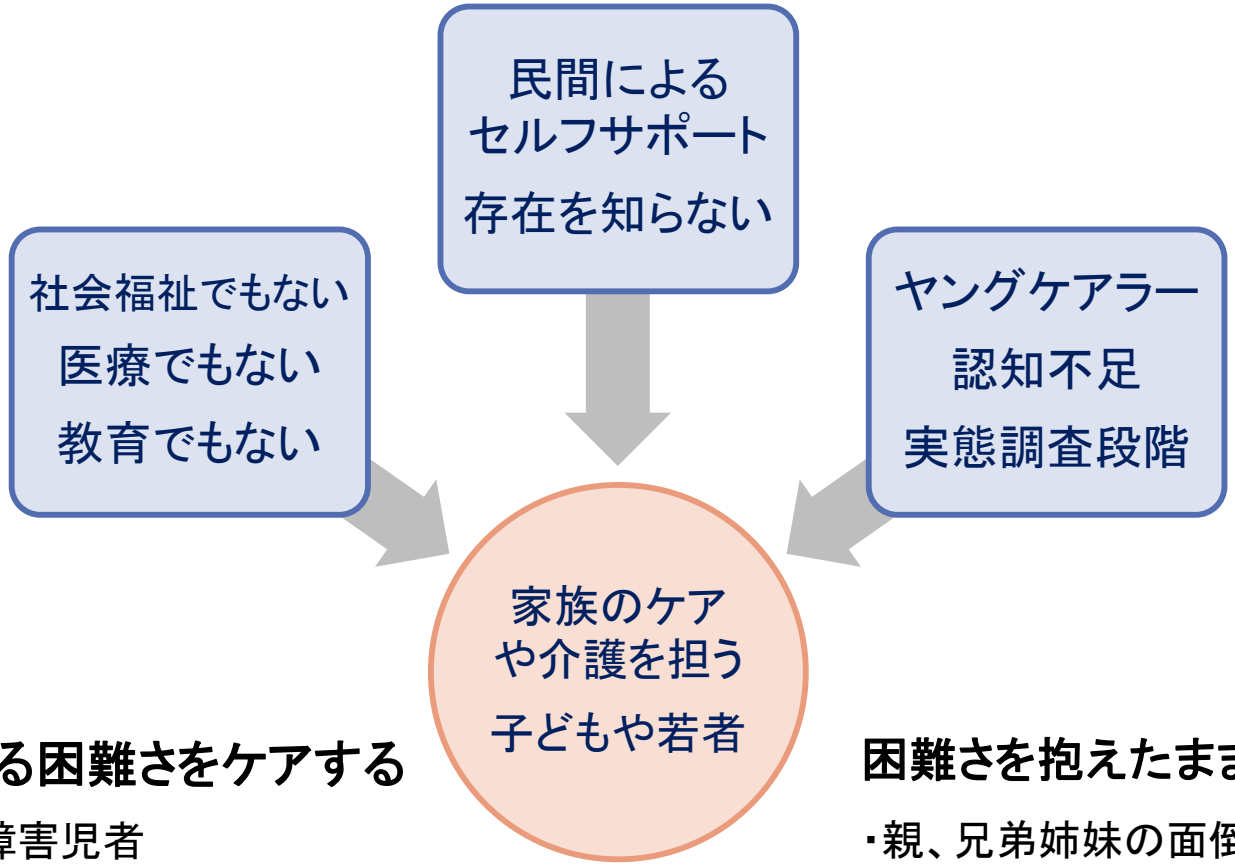
ケアラーが、自らアクションを起こし、周りの人々と繋がっていく

・インクルーシブ社会を目指す　・エンパワメントサポート



Copyright @ 2016 Carer Action Network

ケアを担う子どもや若者　－　その立場



家族が抱える困難さをケアする

・兄弟姉妹が障害児者

・親が精神疾患や依存症や慢性病

・母親がうつ病、父親がアルコール依存症
　兄弟姉妹が障害児（複合型）

困難さを抱えたまま成長

・親、兄弟姉妹の面倒を看る

・他者に知られてはいけない

・自己解決しがち、抱え込む

Copyright @ 2016 Carer Action Network

ケアを担う子どもや若者　ー　抱えている課題

家族のケアや介護を担う子どもや若者

精神的ストレス

- 周囲は気が付かない（健康だから問題ないだろう）

親子の立場や、きょうだいの順列が逆転

- 子どもが親の面倒を看る、弟や妹が兄や姉の面倒を看る

子どもらしい子供時代の喪失 (早熟化)

- 同世代と馴染めない、大人の事情に振り回される

自己解決型

- 相談できない、ひとりで抱え込む、

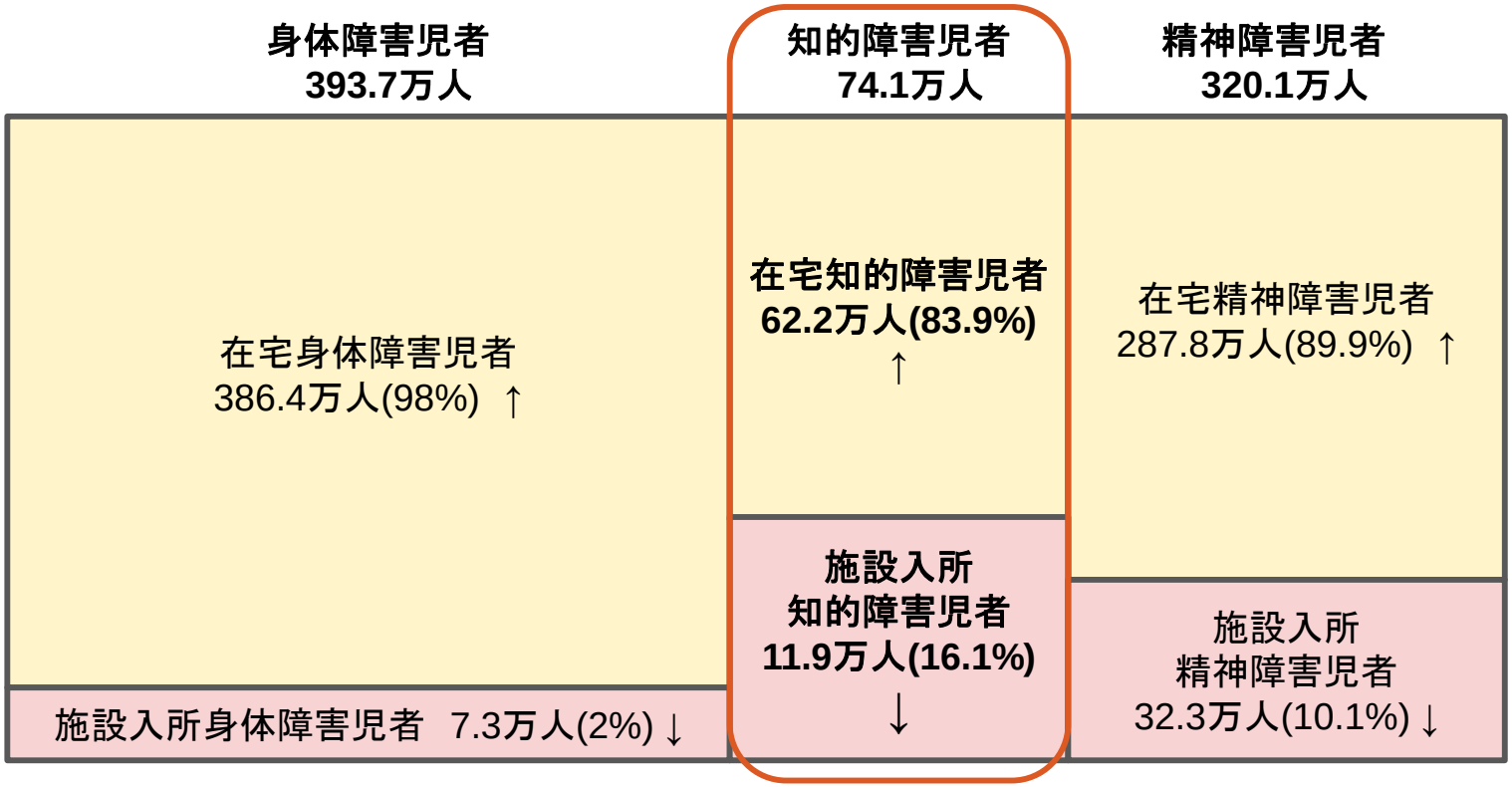
生涯を通して家族をケアする

- ライフステージごとに家族の課題を気にしなければならない

Copyright @ 2016 Carer Action Network

障害者の数（在宅・施設）

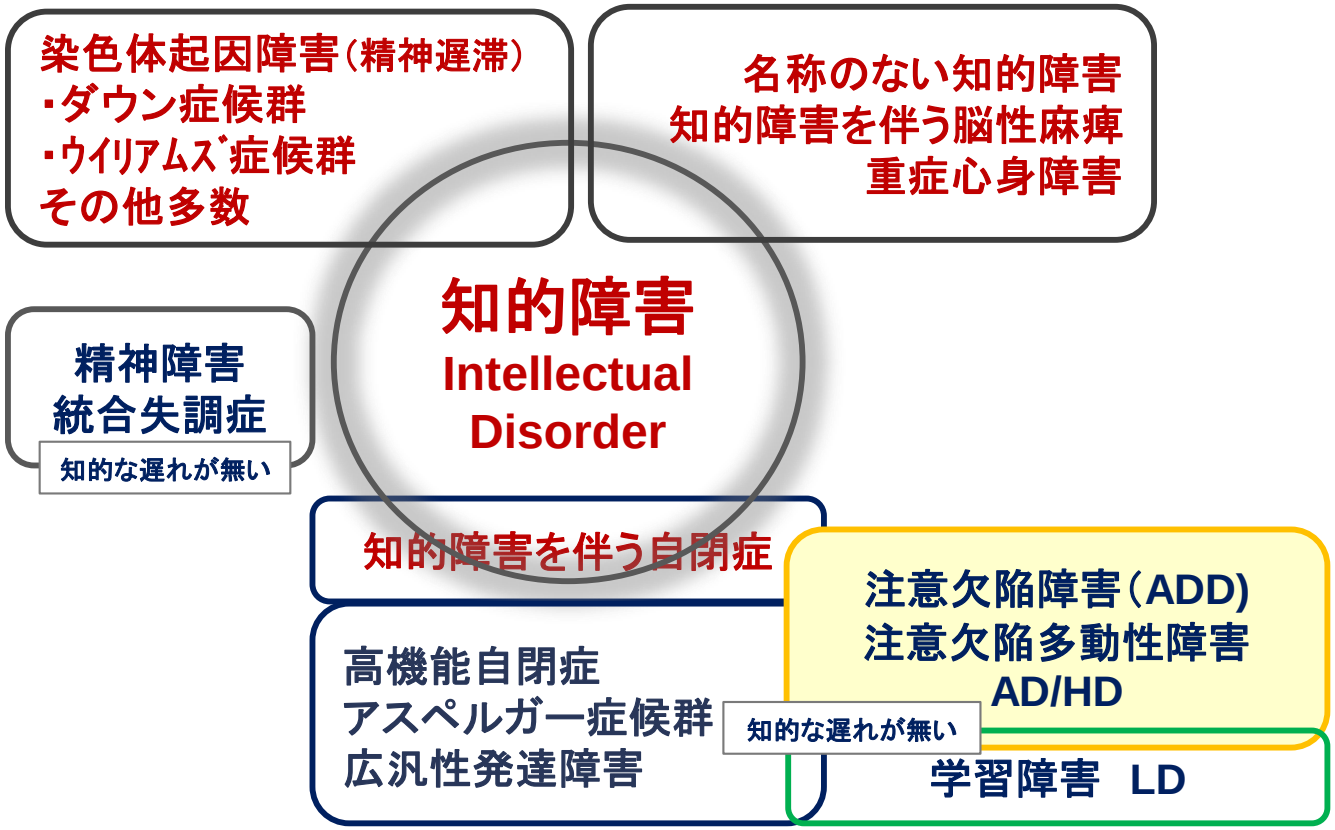
障害者総数　787.9万人　(0.6%)　うち在宅　736.4万人 (93.5%)
うち施設入所　51.5万人(　6.5%)



出典：　平成27年版　厚生労働省白書　http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/15-2/dl/10.pdf
「身体障害者」在宅者：厚生労働省「生活のしづらさなどに関する調査」（平成23年）
施設入所者：厚生労働省「社会福祉施設等調査」（平成21年）等より厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部で作成
「知的障害者」在宅者：厚生労働省「生活のしづらさなどに関する調査」（平成23年）
施設入所者：厚生労働省「社会福祉施設等調査」（平成23年）より厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部で作成
「精神障害者」外来患者：厚生労働省「患者調査」（平成23年）より厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部で作成
入院患者：厚生労働省「患者調査」（平成23年）より厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部で作成

Copyright @ 2016 Carer Action Network

知的障害者とは



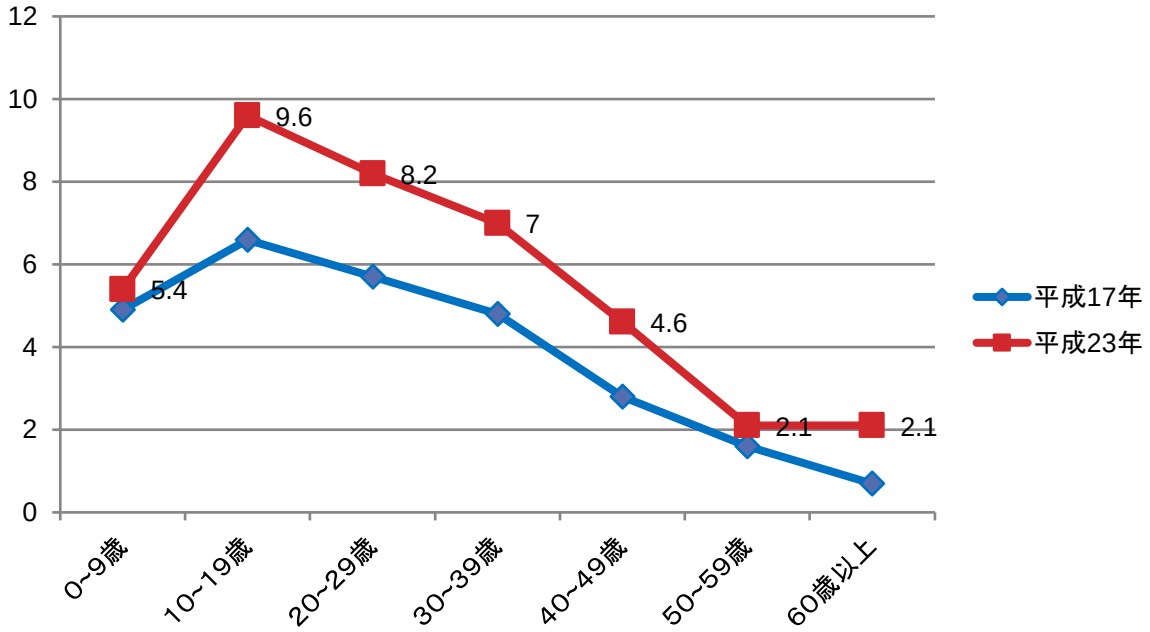
高機能自閉症　（知的な遅れが無い。①対人関係の困難さ、②他人に意思を伝える困難さ、③こだわり行動がある）
アスペルガー症候群　（知的な遅れや他人に意思を伝える困難さは無い。対人関係の困難さやこだわりはある）
AD/HD　（知的な遅れが無い。不注意、多動、多弁、衝動的に行動する特性がある）
学習障害　（知的な遅れが無い。読む、書く、計算する能力が極端に困難）

Copyright @ 2016 Carer Action Network

知的障害児者数の推移

年齢階級別にみた知的障害児（者）数の推移（人口千人対）

	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上
平成7年	2.8人	4.1人	4.1人	2.1人	1.7人	1.2人	0.5人
平成17年	4.9人	6.6人	5.7人	4.8人	2.8人	1.6人	0.7人
平成23年	5.4人	9.6人	8.2人	7.0人	4.6人	2.1人	2.1人



出典：　平成27年版　厚生労働省白書　http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/15-2/dl/10.pdf

資料：厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部「知的障害児（者）基礎調査」、「生活のしづらさなどに関する調査」

（注）　人口千人対の知的障害児（者）数算出の基礎人口は、総務省統計局の「国勢調査」の人口を用いた

Copyright @ 2016 Carer Action Network

知的障害児者のきょうだい

感情面

・同胞の発語が乏しい、困難　→　察する、代弁する

・奇声、衝動的な動き　→　恥ずかしい、守る

・親が全面的に生活援助　→　過保護だと思う、可能性を伸ばしたい

・感情や感覚を抑制する　→　わかってもらえない、過剰反応

・親亡き後の漠然とした不安　→　何から準備すればいいのか

行動面

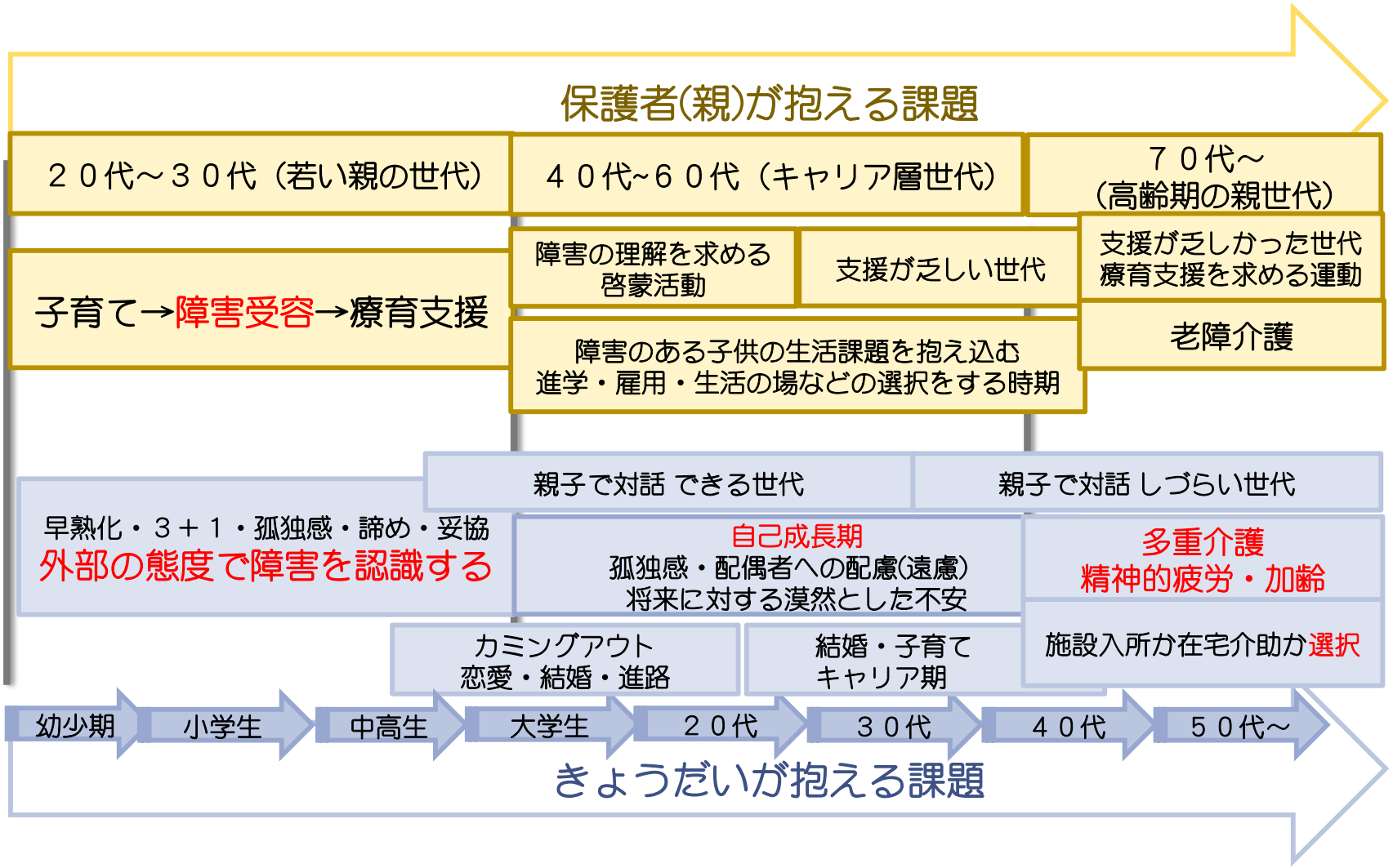
・人間関係　→　恋愛や結婚、子どもを持つことに不安

・カミングアウト　→　大切な人に伝えるタイミング

・多重介護　→　子育て、親の介護、同胞の生活介助が重なる

Copyright @ 2016 Carer Action Network

障害児者の家族が抱える複合的な課題



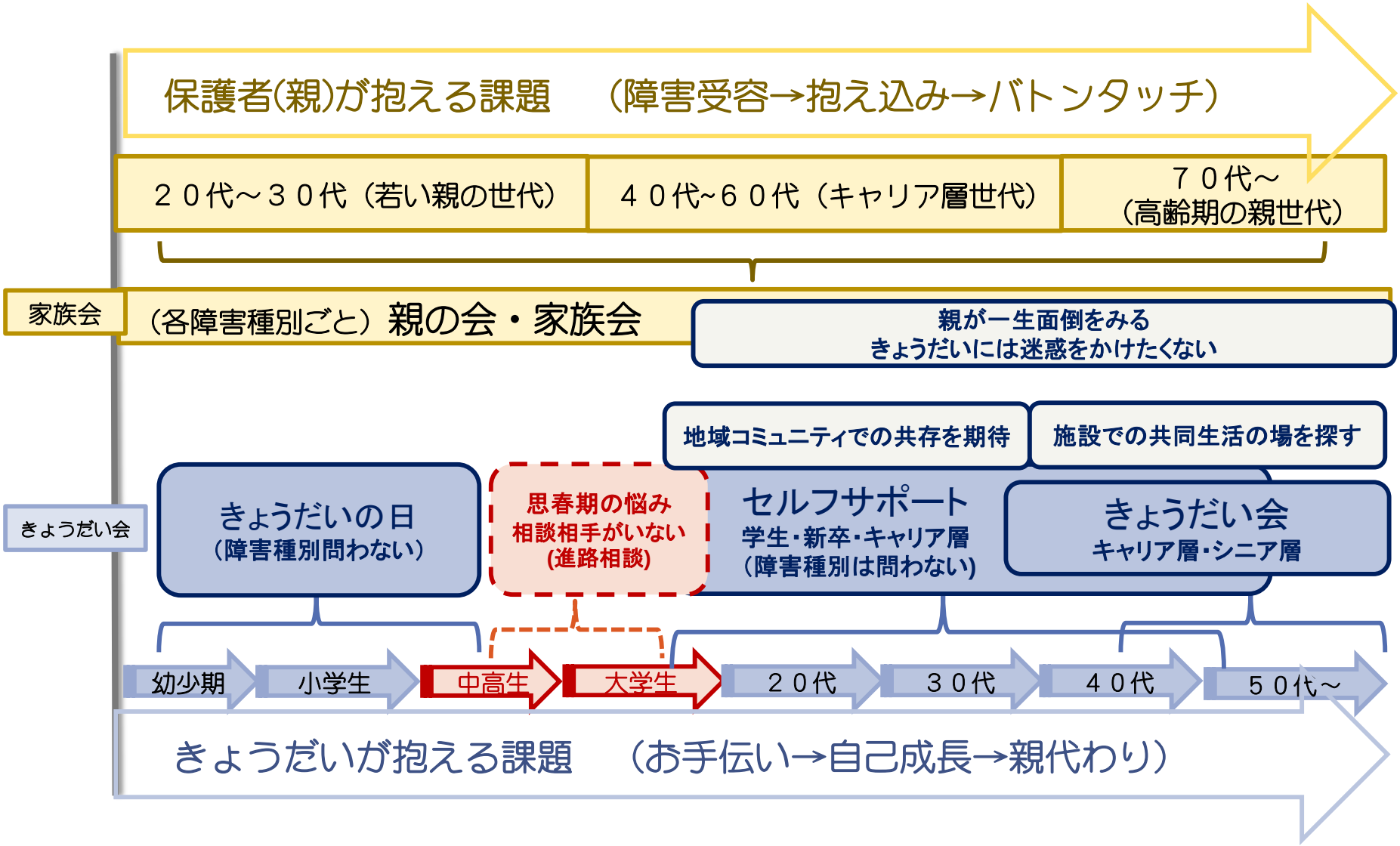
Copyright @ 2016 Carer Action Network

ライフステージごとの課題

障害児者本人の成長に合わせて
親もきょうだいも
年代ごとに様々な違いがある

Copyright @ 2016 Carer Action Network

家族会・きょうだい会



Copyright @ 2016 Carer Action Network

きょうだいが求めていること

知的障害について
世間の人々が
もっと知る機会が増えること
理解して尊重し合うこと

Copyright @ 2016 Carer Action Network

地域で知的障害者をあまり見かけない

シチュエーション	家族が持つ心配ごと
交通機関	職員は快く配慮してくれるので安心感がある
映画館・シアター レストラン・カフェ 美術館・博物館 動物園・レジャー施設 ショッピング 旅行	周囲への迷惑を心配 ・多動や奇声 ・衝動的な行動 ・てんかん発作 本人の意思が確認しづらい 「無視」と「配慮をもった無関心さ」の違い 外出先での不慣れさ 遠出を控える、あきらめる

Copyright @ 2016 Carer Action Network

どうすれば「障害への理解」が進むのか？

・幼い頃から障害児者と触れ合う機会を増やす

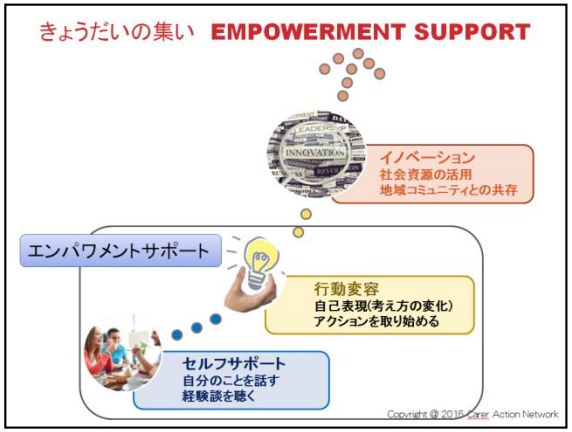
・外出できる環境整備

・誰もが参加できるイベント

きょうだいの集いで出された意見

Copyright @ 2016 Carer Action Network

CANの取り組み
エンパワメントサポートプログラム



進め方

① セルフサポートグループの話題を可視化する
② その内容をオープンにする
③ 現実的な解決策を探り、それを実現する

プログラム	対象年齢	内容	効果
感情を豊かにする ART & CHAT CLUB	小中学生	こころとからだを解放する ワークショップ・プログラム	2016年開講予定
きょうだいの集い	20代～40代 (5～60代含)	オープン型セルフサポート 意見交換 課題の視覚化 現実的な解決策を探る	行動変容 気持ちの整理 課題解決 社会への働きかけ
親ときょうだいの 対話会 in 2015	20代～40代	ナラティブアプローチ 幼少期の回想・親の気持ち	相互理解 経験が人の役に立つ
親向けセミナー	50代～80代	親がいるうちに出来ること	意識変容

Copyright @ 2016 Carer Action Network

CANの取り組み
きょうだいの集い

EMPOWERMENT SUPPORT

エンパワメント・サポート・プログラム

Empowerment Support Program

課題の可視化

気持ちの整理

月一回開催(都内)

知的障害者や精神障害者などのきょうだいが集まる

意見交換、情報交換、様々な経験談を聴く

凝り固まっていた考え方が柔軟に変化する

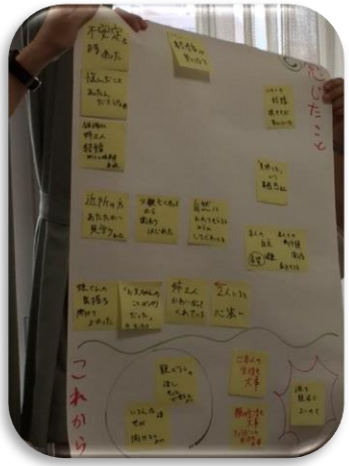
SNS等発信

行動変容

Copyright @ 2016 Carer Action Network

CANの取り組み
保護者との対話会

◎ 成年後見人制度について
（自治体主催）

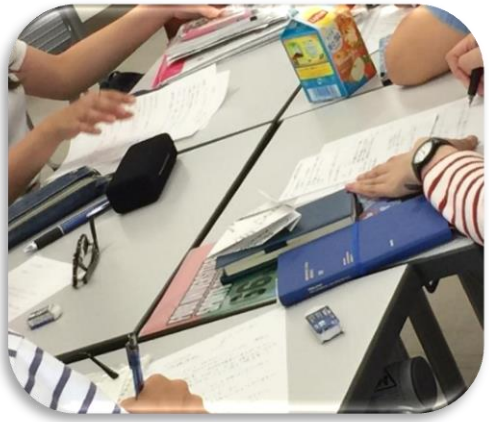


◎ 親のいるうちにできること
（自治体主催）

◎ 若い世代の親御さんとの対話会
（CAN主催）

Copyright @ 2016 Carer Action Network

CANの取り組み
大學での講義やゼミ指導



◎ S大学 社会学部

2014年7月　「障害のある家族との関わりについて」

2014年11月　「ヤングケアラーについて」

2015年7月　「共に生きる」

◎ R大学 社会福祉学部

2014年7月　「障害のある家族との関わりについて」

2015年7月　「共に生きる」

◎ H大学 キャリアデザイン学部

2015年12月　「ダイバーシティ・シンキングからインクルージョンへ」

Copyright @ 2016 Carer Action Network

CANの取り組み
各地での講演会・意見交換

Copyright @ 2016 Carer Action Network

CANの取り組み
ボランティア活動

バディ・ウォーク

きょうだいキャンプ

Copyright @ 2016 Carer Action Network

CANの取り組み
障害児者施設に向けての
防災対策マニュアル導入推進

生存者を増やすため
障害特性に応じた防災対策マニュアルを！

防災専門家が直接施設を訪問して
防災対策チェックを行う大阪での取り組み

CANは、東京での取り組みに参加しています。

CANの取り組み　*NEW!*
ART & CHAT CLUB

クリエィティブ・インスピレーション・ワークショップ

きょうだい児があるがままでいられる居場所を提供します。アメリカで生まれた演劇メソッドを使って、遊びながら心と体を解放します。

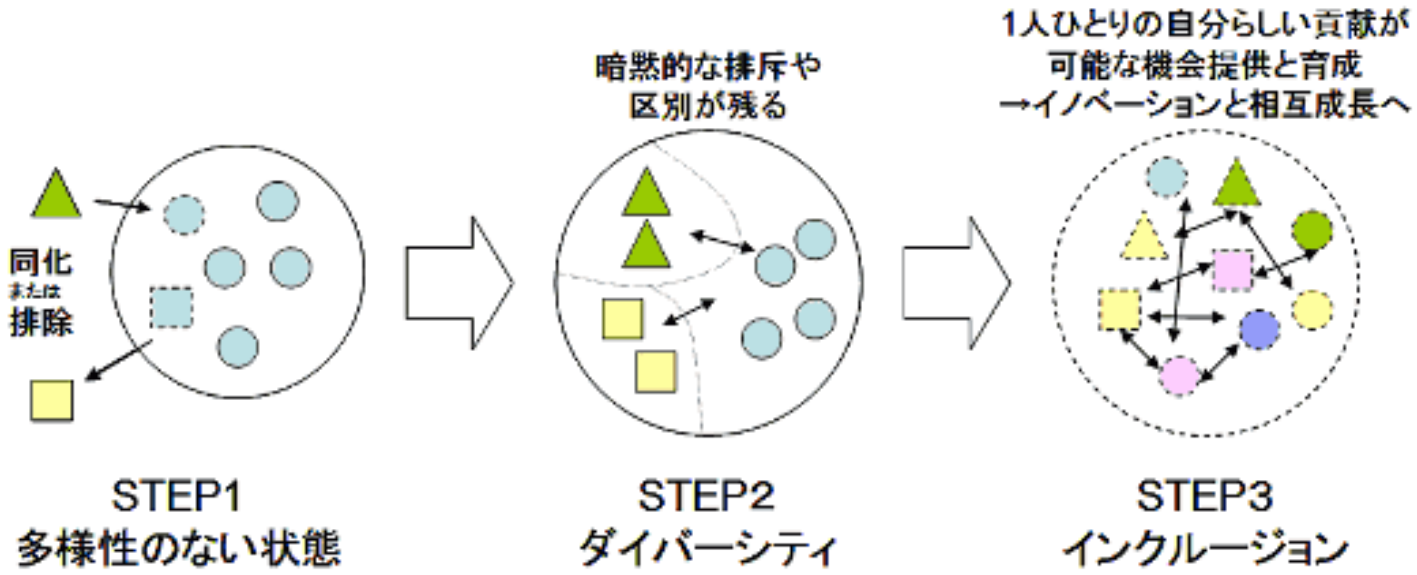
楽に話せる、こころを開ける、似た境遇の仲間ができる。そんな安心できる環境を整えていくので、お子さんはのびのびとした時間を共有することができます。

2016年　5月より　年4～5回開催予定

対象者：小学生～中学生

Copyright @ 2016 Carer Action Network

これからの社会　D&I



固定化された
行動パターンが
全ての人に
要求される社会

人々の多様性を理解して
組織や社会に活かそう

しかし・・・
暗黙のうちの了解で排斥や
差別や区別が残ってしまう

イノベーションや
相互成長を目指す社会

対等な関係で相互に関わり
合い、社会や組織に参加して
想像性が生まれる

参考文献：(株)ヒューマンバリュー　研究員　堀田恵美　「企業と人材（産労総合研究所）」2008年6月5日号掲載

Copyright @ 2016 Carer Action Network

まとめ

ケアや介護を担う子どもや若者

家族が抱える困りごとや課題

家族だけで解決しない

社会資源と家族をつなぐ

障害や障害者とふれあう機会

Copyright @ 2016 Carer Action Network

CAN
Carer Action Network

まとめ

インクルーシブ社会の実現
エンパワメントサポート

Inclusion

話題提供・講演会
大學での講義など

Empoerment Support

本来持っている
力を引き出す

ワークショップ
心と身体の解放

Copyright @ 2016 Carer Action Network

CAN
Carer Action Network